

昭和35年頃の市街地図

作成にあたって

- 今回の「市街地図」作成にあたって、会員金村優氏が保存していた旭川市旭央印刷出版社の新得町全戸図（以下「旭央図」という）を参考にした。
- 旭央図は「姓」だけの上、商店名などの記載がないため市街地の全体像が分かにくい欠点があり、さらに発行年月日などの奥付がないためいつの頃のものかは当時町内で住居移動された郷研元会員岩木善司氏長男輝年氏の話で判断した。
- 岩木善司氏は上佐幌に開拓入植され、三十六年（一九六一）に番外地に住居を移されていたが、旭央図には住居移動前の上佐幌に「姓」の記載があり、このため旭央図の作成は三十六年以前と推断し、発行年を三十五年頃として今回の市街地図の元図とした。
- 三十五年（一九六〇）頃は地図等に個人名を掲載することに制約もなかった時代であったが、現在個人情報保護法によってそれができないので、個人名は一切載せず事業所、商店など公のものを掲載対象として作図した。
- このため農家など市外地を含めた「新得町全戸図」の作成はならなかった。
- 旭央図に記載された「姓」を頼りに、さらには当時郵便集配作業に従事していた元郵便局員の記憶をもとに三十五年頃の商売等を特定していった。商店名は主な取扱品、あるいは当時の呼び名で記載している。

□ 職場長などの氏名は町史を参考に記載し、地番の「基線三十三番地」「東一線四十八番地」「上佐幌西四線三十六番地」等は当時の表記のまま記載した。

□ 中新得川は、広内から市街地を東西に横断して流れていたが、市街地内の当時の川筋の記載はしなかった。オダシシュ山麓を源流とする中新得川は、新得寺南↓線路下↓田村宅南↓本通（橋）↓一条通（橋）↓弘願寺南↓一条仲通（橋）↓板垣商店北↓二条通（橋）↓稲辺宅北↓林公園南↓高校南↓佐幌川に合流していた。

□ 五十年以上も前の記憶を辿っての作成です。一部商店等の開店時期や閉店時期に数年前後の誤差、商店名などに作成担当者（の思い込み、思い違いで正確な表現になっていないあるいは事実誤認等がありましたらお詫びいたします。）

Ⅱ 市街地図作成担当者Ⅱ

当時の官公署、事業所等

日本国有鉄道
 駅、機関区、保線区、同線路班、同営林班、客貨車区、信号通信分区、給水・炭施設、苗圃、国鉄寮
役場
 役場、保育所、公民館、自工新清寮、隔離病舎

農林省

営林署、同担当区、同森林鉄道、同苗圃、同からまつ寮、同北森寮、食糧事務所、統計調査事務所

日本電信電話公社

電話中継所、工事駐在員詰所

郵政省

新得、屈足、新内局、トムラウシ簡易局、岩松簡易局、切手類販売所（町内商店等に委託）

北海道関係

警察署、駐在所、保健所、種畜場、同広牧寮、農業改良普及所、林業事務所、林産物検査事務所

農業関係

農協、農協精米所、農協醸造開拓農協、農業共済組合

学校

新得、福山、佐幌、上佐幌、新内、屈足、同南、岩松、富村牛、同下富村牛分校、上富村牛各小学校、新得、屈足、上富村牛各中学校、高校（定時制）、同分校、野幌高等酪農分校

主な事業所等

北海道銀行、北海道拓殖鉄道、同拓鉄寮、北電岩松発電所、電源開発散宿所、雪印乳業集乳所、明治乳業集乳所、横山産業、森林組合、魚菜卸市場、厚生協会授産所、道新支局、NHK通信局、劇場



